

## 京城跡のイメージ図

京城跡は、平山城と呼ばれる種類の城に分類され、立派な天守閣はなかったが、敵の攻撃に備え、さまざまな仕掛けが備わった造りとなっていた。



### ① 東泉寺跡

京城跡の南側に、江戸時代に東泉寺と呼ばれた寺院が存在していた。現在も本堂跡の靴脱ぎ石や礎石、当時使われていた井戸跡が現地に残っている。



### ② 舟形地蔵・神明様

舟形地蔵は、高さ40cmで光背部に文明13年(1481年)の銘がある。神明様は、由緒は不明だが古くから祀られており、地域では「シメ様」と呼ばれている。



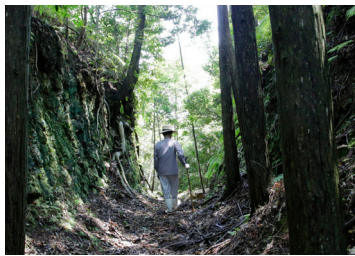
### ③ ⑧ 曲輪

曲輪とは、堀や土塁で囲んで作った城内の区画のことをいい、京城跡には、最も高い所に造成された西曲輪群、尾根鞍部から東にかけて造成された中央曲輪群、北東の曲輪などが確認されている。



### ④ ⑨ 堀切

堀切とは、敵の侵入を防いだり、高いところから攻撃するために作られた堀のことをいう。京城跡には、北西の城の裏手に2条の堀切、東の尾根に2条の堀切がある。



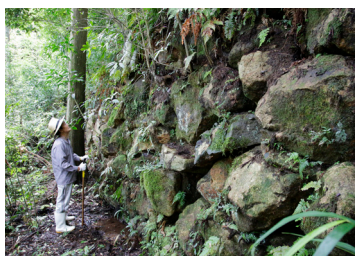
### ⑤ ⑩ 堅堀・畝状堅堀群

堅堀とは、山腹をつたって横から回り込むのを防ぐために山腹を下っていくように縦に掘られた堀のことをいい、堅堀を並べたものは畝状堅堀群という。京城跡には、北西の堀切の外側と東斜面にそれぞれ畝状堅堀群がある。



### ⑥ 石垣

京城跡には、中央曲輪の北斜面と南斜面に高さ3mほどの石垣があるのはじめ、西曲輪の周回、大里東墓地の北斜面、北西尾根の堀切南端に確認されている。



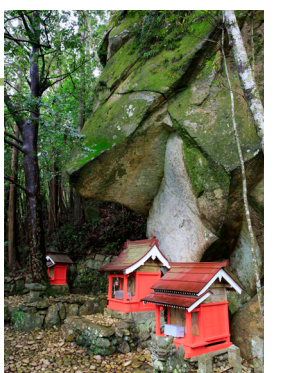
### ⑦ 虎口・枡形虎口

虎口とは、城郭における出入り口のことをいい、敵の侵入を防ぐために、通路を折り曲げるなどの工夫がなされている。枡形虎口は、壁や石垣などで四角に囲んだり、通路が折れ曲がっているように作った虎口のことをいう。



### ⑪ 齋丘神社

神社の大きな岩は、神が宿るとされる磐座で、太古の昔から祀られている。狛犬と3つの赤い祠があり、左から天神さま、氏神さま、稲荷さまが祀られている。



### ⑫ 羽山地遺跡

羽山地遺跡は京城跡の南麓に位置する。14世紀後半、相野谷川流域を治める相野荘と呼ばれる荘園があり、室町時代の相野荘は新宮領に属し、当時から穀倉地帯であったこの地は重要な拠点であったと考えられている。

